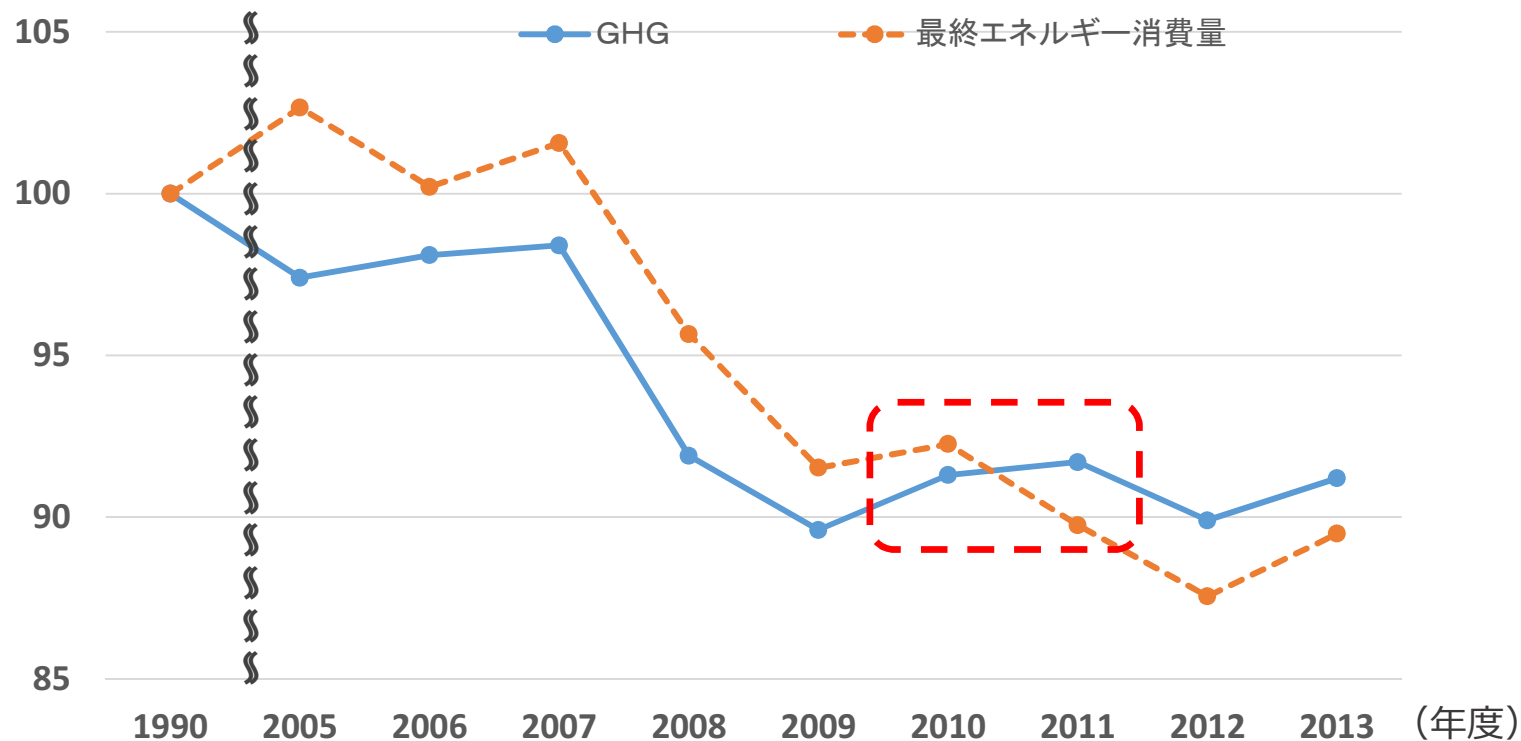


4. 目標の種類と評価指標

4-1 温室効果ガス排出量と最終エネルギー消費量の推移

- 温室効果ガス排出量と最終エネルギー消費量の推移
(指数、1990年度を100)



- 2008年度以降の最終エネルギー消費量は減少傾向にあるが、温室効果ガス排出量は横ばいとなっており、市民等の省エネルギー・節電努力の実情が反映されていない。
- 今後の排出量の動向についても、原子力発電の稼働状況や電力自由化による影響が不透明なため、見通せる状況にない。

4-2 温室効果ガス排出量と最終エネルギー消費量

●特徴

区分	温室効果ガス排出量 (t-CO ₂)	最終エネルギー消費量 (J)
電力の排出係数に変動があった場合、節電等の取組を適切に評価できるか。	×	○
燃料転換(CO ₂ 排出量が少ない燃料への変更)を評価できるか。	○	×

(「神戸市地球温暖化防止行動計画」より抜粋)

温室効果ガスの削減目標に併せて最終エネルギーの削減目標を設定することで、両削減目標の特徴の補完が可能

●他都市の実行計画の目標

東京都	最終エネルギー消費量を併記('16.3月)
千葉市	最終エネルギー消費量を併記('16.10月改定)
浜松市	最終エネルギー消費量を併記('12.3月)
大阪市	最終エネルギー消費量の掲載を検討(改定作業中)
神戸市	最終エネルギー消費量と再エネ導入量を採用('15.9月改定)

4-3 評価指標の設定

現行計画の指標

主に、めざす姿(3つの生活像)の実現状況を把握するための指標

- ・温室効果ガス排出量との関連性が低い
- ・施策の進捗が分かりにくい

【主な指標】

- ・ 駅そば生活圏人口比率
- ・ 緑被率
- ・ 1人あたりの都市公園等の面積
- ・ 次世代自動車の割合
- ・ エコドライブ実施率
- ・ 次世代省エネ建築物延床面積の割合
- ・ エコ事業所認定件数
- ・ 再生可能エネルギーによる発電設備容量

改定計画の指標

めざす姿の実現状況を把握するための指標に加え、

- ① 温室効果ガス排出量または最終エネルギー消費量の削減に関連する指標
 - ② 個々の施策の進捗状況を把握する指標
 - ③ 市民、事業者、行政の取組状況が分かる指標
- 等を検討

4-3 主体別部門と評価指標（例）

部門	趣旨	評価指標 (●既存、◆追加)
家庭	「家庭」における省エネ活動状況の評価	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 世帯当たりエネルギー消費量(J/世帯) ● 再生可能エネルギー導入量(kW、件数)
自動車	移動における省エネ状況の評価	<ul style="list-style-type: none"> ● 次世代自動車の割合(%) ● 市内鉄道及び市バス1日あたり乗車人員合計(万人) ● エコドライブ実施率(%)
オフィス・店舗	「オフィス・店舗等」における省エネ活動状況の評価	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 単位面積当たりエネルギー消費量(J/m²)
工場	大規模事業所の地球温暖化対策取組状況の評価	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 地球温暖化対策計画書制度対象事業所のエネルギー消費量削減率(%)